

令和 7 年 4 月 1 日

校長 土屋 敏彦

令和 7 年度 町田市立小山中学校 学校経営方針

教 育 目 標

生命の尊重および人権の尊重を基調とし、広く国際社会において信頼と尊敬を得て平和を希求する人格の育成と、他者と協働して課題を解決できる力をもつ市民の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

創造

敬愛

健康

1 目指す生徒像

すすんで学び 創造性のある生徒（問題解決力）
豊かな心をもち 思いやりのある生徒（人間関係形成力）
心身ともに健康で 意志の強い生徒（実践力）

2 目指す学校像 「温かく穏やかな雰囲気のある学校」

- (1) 人としての基礎・基本である基礎学力、社会性、人間性を身に付ける学校
- (2) 安心して学び、生き生きと活動しながら、良き歴史と伝統を創っていく学校
- (3) 学校の社会的使命と責任を自覚し、粘り強く組織的に改善に努める学校
- (4) 保護者や地域と連携し、地域社会に開かれた学校

3 学校経営の基本的な柱と具体的実践例

(1) 開かれた学校づくりの推進

○学校・保護者・地域の三者がともに生徒の育成について真剣に考え、具体的に行動する連携姿勢を推進する。

- 学校運営協議会の開催及びその外部評価の活用と学校改善
- 学校公開週間（年 3 回）・学校説明会・道徳授業地区公開講座(土曜開催)の実施と事後アンケートの実施（道徳授業地区公開講座後の意見交換会の実施）
- 評価計画の改善と広報 ● 保護者・生徒教育活動アンケートの実施
- 学校便り・学年便り・ホームページの充実（学校日記への写真アップ）
- 連絡配信アプリ（tetoru）を利用した保護者への丁寧でこまめな連絡
- 配慮を要する生徒への家庭訪問・面談・ケース会議等の実施・ステップ教室（不登校生徒支援教室）と不登校対応巡回教員の活用
- 地域行事と O C P（小山クリーンプロジェクト）への参加生徒と広報
- 公平な委託業者の選定 ● 地域協力会の実施
- 地域や P T A と連携した講演会の実施（保護者参加の呼びかけ）
- 小中連携の推進、小山小中学校連携会議の実施（教員の研修会、小学校サマースクール・リトルティーチャー・中学校訪問など生徒を中心とした交流の実施）

(2) 基礎学力の定着と創造力の育成

○意欲的に学習する生徒の育成を目指し、全教員の一致した指導を徹底する。

- 家庭学習の習慣化、自学自習の推進（家庭学習ノートの全学年実施）
- 授業改善の推進（対話的な深い学びと ICT 機器の活用：校内研修を通じて）
- 学習ドリルソフト（Qubena）の有効活用 ● 朝読書の継続
- 1 学年での英語体験プログラム（T G G）、2 学年でのイングリッシュフェスタ実施と全学年スピーキングテストの実施

- 計画的な進路指導・望ましい勤労観・職業観の指導
(職場体験、職業調べ、職業人の話を聞く会、卒業生のお話を聞く会)
- 放課後や長期休業中の補習の実施 ● 教材や教具の適切な購入・活用・管理
- 体力・運動能力の向上とスポーツを楽しむ(体育科男女共習と特別支援学級と合同の体育大会の実施)
- 欠席生徒への授業配信(classroom meet 機能の活用)

(3) 規範意識を高める生徒指導と心の教育の推進

- 全教職員の粘り強い指導で授業規律を確立させる。道徳の授業を要として教育活動全体を通じて心の教育の充実に努め、自他ともに尊重する精神の育成を図る。
 - 授業規律の維持(見逃さない指導) ● 集会時の指導(全学年での統一指導)
 - 登下校指導 ● 環境美化の推進 ● チャイム始業の徹底
 - 教員を範とした言葉遣いの指導とあいさつの励行
 - 破損箇所や老朽箇所の早期発見と修繕及び指導 ● S N S 小山中ルールの徹底
 - 人権尊重の重視(多様性理解の推進) ● 道徳授業の計画的・組織的实践
 - 心の教育の重視と心のアンケートの実施と対応 ● 関係する各外部機関との連携
 - いのちの安全教育の推進(いじめ授業の年3回実施、自殺防止教育など)
 - 平和教育の重視(講演会の実施と日常的な働きかけ)

(4) 組織的学校の運営の実現と意識改革の推進

- 常に改革・改善の意欲をもち、サービスを尊重し、組織的に取り組む教職員集団を目指す。
 - 全教員による学校経営方針の理解と実現 ● 分掌組織の活性化と効率化
 - 校務分担の明確化・集約と引継ぎ、データの管理 ● 進路学習部の活用と継続(各学年講演会資料、総合・学活・道徳資料等の集約と着実な実施) ● 組織的な生徒・保護者対応と記録 ● ヒヤリハットの共有
 - 報-連-相の重視 ● 学年を越えた補助と激励 ● 諸事業の見直しファイルの活用
 - 関係諸機関との連携(教育センター、子ども家庭支援センター、児童相談所・警察等)

4 その他 ～信頼される教職員を目指して～

(1) 指導力向上に向けた教員研修

- 教員相互の授業観察の日常化(月1回)
- 校内研修会の充実 ● O J T 研修の推進 ● 校外における研修への積極的参加の奨励
- 主体的で対話的な深い学び(協同的学習)の開発的意欲と具体的実践
- 東京都教職員研修センター・多摩教育事務所・町田市教育センター主催の研修および町田市中教研への積極的参加(指導教諭の授業見学)
- 指導と評価の一体化を図る研修の実施と信頼性を高める評価の実践
- ICT スキルの修得

(2) 特別活動・その他

- 学年経営案・学級経営案の作成と進行管理 ● 教科年間指導計画の作成と着実な実行
- 学校行事の効率的実施 ● 食育の重視 ● 部活動の推進(地域との連携)
- 小中連携事業の充実 ● 健康教育・予防教育の推進 ● 生徒会活動の継続
- 体験的活動の重視

(3) 特別支援教育

- 特別支援教育推進委員会を要とした、配慮ある特別支援教育の実施
- 特別支援学級(知的固定)開設と研修会の実施。通常級との日常的な交流・校内研修の実施

- 「特別に支援が必要な生徒」の実態把握と組織的対応（ケースに応じた指導）
- 丁寧な保護者対応 ◦ UD の実践 （板書・掲示物等の共通実践）
- 特別支援教室（サポートルーム）教員との日常的な協力と連携・校内研修の実施

（４）服務と厳正

- 適正な服務と公私にわたる自己管理 ◦ 年３回の服務事故防止研修の実施
- 信用失墜行為の組織的防止（互いに言い合える環境作り）
- 個人情報の厳密な管理 ◦ 諸帳簿の正確な記入と遅延なき提出
- 心身の健康管理（ライフワークバランスの推進、ストレスチェックと産業医の活用）
- 働き方改革の推進（最終下校時刻、留守番電話、定時退勤日の設定等）
- 教材費の適切な計画と執行 ◦ 説明責任の自覚

（５）予算執行・会計事務

- 会計委員会を要とした教材費（公会計）での適切な対応 ◦ 適切で計画的な予算執行
- 校内規定遵守による会計事故の防止 ◦ 節約節制・無駄使いの防止（電気、紙、水）
- 教員・事務職員・学校用務間の綿密な連携と教員間の確実な引き継ぎ
- 学習ドリルソフト（Qubena）の有効活用による保護者負担の軽減